

紙、合紙、糊及びバルブ（たばこ管類、手すき和紙
及びセロファンを除く。）

別添第一略圖十一号の次に次の二号を加え
四十二種み替えられる貨物

附 稿

この政令は、昭和二十六年四月八日から施行する。
該の料金を増し出来る省令（昭和二十六年通商産業省令
第十回号）の所訂を受けた者は、該貨物の輸出に對する
第一種第一項第一号の承認を授けた者とみなす。

第八條の二第二項の規定は、該項の承認の有效期間に準
用する。

遙か取まる事の必要ある事である。

販賣の對象となるべき通商産業大臣の輸出の承認を要する貨物

職 由

十三音報

門甲第一六〇号 起
案 昭和三十六年六月十五日

明治三十六年六月十五日 施行昭和年月日
上奏 昭和年月日 公布昭和年月日

内閣總理大臣

内閣官房長官

内閣官房副長官

内閣總理大臣官房総務課長

大橋國務大臣

廣川國務大臣

保利國務大臣

か

酒田國務大臣

横尾國務大臣

周東國務大臣

か

天野國務大臣

山崎國務大臣

西村國務大臣

か

黒川國務大臣

田村國務大臣

内閣官房事務官

か

別紙 外資委員会委員長 提出

マークト声明に応じて採るべき措置について

この外資委員会意見見

右供覧。

外資委業第六四号

昭和二十六年六月十一日

外資委員会委員長

周東英



内閣総理大臣 吉田 成勝

外資委員会は、外資の円滑な導入を図るための措置に因し、外資委員会設置法第三条の規定に基き、左の意見を提出する。・

マーカット声明に應じて採るべき措置について

マーカット声明に應じ日本政府の声明を發表する際、外資導入に関して左記事項を包含せしめられたい。・

一、外資導入に關し日本政府が從來採つて來た政策及び制度、殊に「外國爲替及び外國貿易管理制度」の制定により、一定の規範の下に秩序ある涉外經濟活動が行われる基盤を確立し、その基盤の上に「外資に関する法律」に基き導入外資に対し外貨轉換の保障を與えると

いう制度並びにそのような外資導入に対しても予め外資委員会が厳重な審査をして外資導入に伴う負債超過を來たしたり賛成ならざる外資導入によつて將來元利金等の外貨支拂に窮することなきを期しているその根本方針及び外國投資家の財産が強制収用された場合の補償金の送金を「外資に関する法律」によつて保障する制度等は、講和後も変更しないこと。

二。占領期間中、外國投資家が「外国人の財産取得に関する政令」に基き外資委員会の認可を受けて取得した財産権を講和後に至つて否認若しくは侵害するようなことは、絶対に行わないこと。

三、「外資に関する法律」制定後の経験に徴して外資導入に関する制度として不備と思われる点が若干發見されたについては、今後研究を進め、なるべく速かに改善措置を講じて行く所存であること。

外資委員会設置法(抄)

第三條 外資委員会は、日本經濟の自立とその健全な發展を図り、國際收支の均衡を維持するため、わが国に対する外國資本の適正な投下を促進することを目的として、左に掲げる事務をつかさどる。

一一六 略

七 わが国に対する外國資本の投下に関する重要政策に関し、内閣總理大臣及び關係行政機關に意見を提出すること。